

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	デイサービスまリモ平野		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 29日		令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数) 8人
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 29日		令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12人	(回答者数) 12人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	戸外活動を通して自然とのふれあいや他施設や他法人との関わりを持っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の多い公園に外出を行ったり、季節を感じる取り組みや人形劇などのイベントに参加し五感を楽しめるような活動を行っている。 ・公園やイベント参加を通して地域交流を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも感動を与えられる活動を増やしていける様に努めています。
2	スタッフ一人一人が子どもの課題に合った取組を考えて情報を共有し支援に活用している事。	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動の中で利用者の興味などについてヒヤリングし、一緒に考え活動に取り入れている。 ・活動の様子や気づいたことを毎日スタッフと伝えることで多角的な視点での支援に力を入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の情報共有を行うだけでなく、それぞれの経験や勉強したことなども共有し、スタッフのスキルアップに繋げていきます。
3	子ども達が主体的に取組める環境作り。	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢の子達からの助言で気づき行動に移せる関係性の構築に取り組んでいる。 ・出来たことややろうとしたことに対して注目が集まる様に声をかけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団活動の中で子ども達が考え意見を言える場を作っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動の様子が保護者にわかる様に伝わっていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の取組について情報伝達が不十分であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、活動の様子をまとめた物をお知らせするように取り組む。
2	家族に対する支援プログラムやペアレントトレーニングについて十分に伝えられていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家庭での支援について伝達が不十分であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が集まって話せる様なイベントの提供を検討していく。
3	学校との連携や地域交流の様子が伝わってなかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との交流について伝達が不十分であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時などで学校や保護者と施設での様子などを共有し、より良い支援に繋がれるよう取り組んでいく。 ・関係機関や地域イベントに参加し交流の機会を増やしていく。